

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2027年7月20日まで（2020年11月20日設定）	
運用方針	<p>モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国のプレミアム企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、プレミアム企業とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。</p> <p>設定日から2022年6月までは、原則として、株式部分（マザーファンド受益証券をいいます。以下同じ。）への投資からドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。なお、株式部分以外は、原則として、残存期間が1年以内の日本国債や短期金融資産に投資します。2022年7月以降は株式部分を高位に組入れることを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券および日本国債を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合は、制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし） 2020-11（限定追加型）

第2期（決算日：2022年2月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）」は、去る2月24日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

◆当期の運用で主眼を置いたポイント

- ・2020年の先進国株式の上昇は主に株価収益率（予想P E R）の上昇によるものであり、2021年2月の時点で運用チームは株式市場全体を割高であるとみていました。また、当期は米国などを中心に、インフレ懸念が台頭しました。運用チームは、インフレ環境においても価格決定力によりコスト上昇を顧客に転嫁できる高クオリティ企業は、好業績が期待できると想定しました。インフレ懸念の高まりなどを背景とした不透明な経済環境下において、有力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を拡大し続ける「プレミアム企業」の魅力が高まると想定し、従来通りの運用方針を維持しました。
- ・主な投資行動としては、4銘柄の新規組入と1銘柄の全売却を行いました。新規組入は、世界各国でエレベーターの保守点検業務などを手掛けるOTIS WORLDWIDE CORP（米国）などを組み入れました。一方で、世界各地でたばこ事業を展開するBRITISH AMERICAN TOBACCO PLC（英国）を全売却しました。また、当期における主な業種別の組入比率に関しては、特段の変更はありませんでした。

- ・保有銘柄のうち、加熱式たばこIQOSのシェア拡大などが追い風となったPHILIP MORRIS INTERNATIONAL（米国）の上昇などがプラスに寄与しました。

◆今後の見通し

- ・政府債務の増加やインフレ圧力などを受けて、法人税と金利の上昇が想定されることや、予想営業利益率が高水準にあることなどを背景に、今後は1株当たり利益（予想E P S）の上昇ペースが鈍化すると想定しています。運用チームは、予想E P Sの上昇ペースが鈍化する想定であることなどを理由に、株式市場での価格下落リスクが高まっていると考えています。

◆運用方針

- ・不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗があることが挙げられます。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。



モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
インターナショナル・エクイティ運用チーム
運用責任者
ウィリアム・ロック



ファンド・マネジャー
ブルーノ・ポールソン

上記は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税込分配	み金騰落	期中率					
(設定日)	円	円	%	%	%	%	%	百万円	
2020年11月20日	10,000	—	—	—	—	—	—	8,763	
1期(2021年2月24日)	10,013	0	0.1	15.0	—	50.4	—	12,235	
2期(2022年2月24日)	10,467	0	4.5	75.5	—	—	—	10,948	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	標準価額		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率
		騰落	率				
(期首)	円		%	%	%	%	%
2021年2月24日	10,013		—	15.0	—	50.4	—
2月末	10,012	△	0.0	19.7	—	45.5	—
3月末	10,154		1.4	25.4	—	39.9	—
4月末	10,258		2.4	31.4	—	34.6	—
5月末	10,278		2.6	36.3	—	24.9	—
6月末	10,410		4.0	41.6	—	19.8	—
7月末	10,478		4.6	47.0	—	15.0	—
8月末	10,537		5.2	51.7	—	9.7	—
9月末	10,485		4.7	56.3	—	4.9	—
10月末	10,848		8.3	62.0	—	—	—
11月末	10,819		8.0	66.7	—	—	—
12月末	11,350		13.4	72.2	—	—	—
2022年1月末	10,764		7.5	75.7	—	—	—
(期末)							
2022年2月24日	10,467		4.5	75.5	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第2期：2021年2月25日～2022年2月24日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第2期首	10,013円
第2期末	10,467円
既払分配金	0円
騰落率	4.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ4.5%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

新型コロナウイルスワクチン接種が進展したこと、米追加経済対策法が成立したことなどを背景に先進国株式市場が上昇したことや、PHILIP MORRIS INTERNATIONAL（米国）やMICROSOFT CORP（米国）の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第2期：2021年2月25日～2022年2月24日

投資環境について

▶ 株式市況

先進国株式市場は上昇しました。

期初から2021年4月にかけては、新型コロナウイルスワクチン接種の進展や米追加経済対策法の成立などを受け、上昇しました。

5月から8月にかけては、インフレや米国の早期利上げへの懸念、新型コロナウイルスデルタ株の感染拡大への懸念などから下落する局面があったものの、一部企業の良好な決算や米国におけるインフラ投資への期待が高まったことなどを背景に、上昇しました。

9月から12月にかけては、インフレ率の高止まりや米議会の大型歳出法案を巡る懸念の高まりなどから下落する局面があったものの、7-9月期の決算発表の内容が良好であったことや一部米経済指標が堅調な結果となったことなどから上昇しました。

2022年1月から期末にかけては、インフレ長期化や米国の早期利上げへの懸念に加えて、ロシア・ウクライナの軍事衝突リスクへの警戒感が高まったことなどを背景に、下落しました。

セクター別では、エネルギーや金融などが上昇しました。

▶ 為替市況

米ドル、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

米長期金利が上昇したことや米国の利上げ前倒し観測が高まったことなどを背景に、米ドルは対円で上昇しました。また、欧州中央銀行（ECB）による資産買い入れペースが減速するとの見方が高まったことや、ECBやイングランド銀行（BOE）による利上げ観測が高まったことなどを背景に、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ **ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）**

株式部分については、設定日から2022年6月までドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行い、その後は高位に組入れることを基本とします。

当期は、定期的に一定金額をモルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券に投資し、組入を増やしました。また、残存期間が1年以内の日本国債や短期金融資産に投資しましたが、日本国債は、2021年10月に全売却しました。

実質組入外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

▶ **モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド**

高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

主な新規組入銘柄

OTIS WORLDWIDE CORP（米国）：同社が手掛けるエレベーターの保守点検業務が安定的な利益を生んでいる点などを評価して、新規に組み入れました。

全売却銘柄

BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC（英国）：同社が手掛ける加熱式たばこ事業の成長が遅いと判断したことなどから、全株売却しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第2期
	2021年2月25日～2022年2月24日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	466

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド 受益証券へ、ドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。

実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

▶モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗力があることが挙げられます。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

2021年2月25日～2022年2月24日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	96	0.907	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(55)	(0.522)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(38)	(0.357)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	1	0.010	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.010)	
(d) その他費用	1	0.011	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.007)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	98	0.931	

期中の平均基準価額は、10,536円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

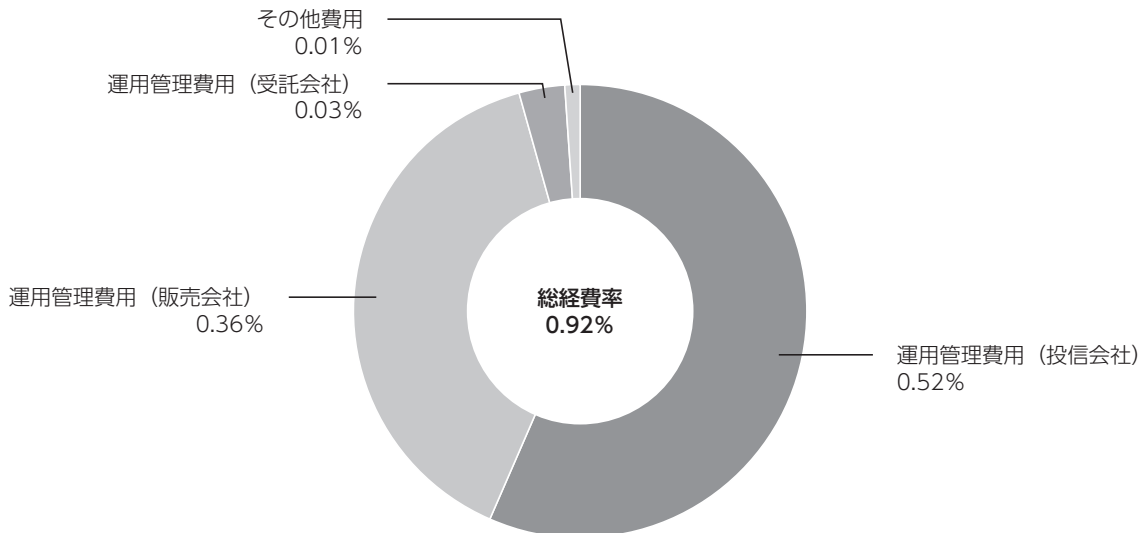
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.92%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年2月25日～2022年2月24日)

公社債

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国債証券	600,153	4,960,620 (1,800,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 1,525,826	千円 6,923,000	千口 216,658	千円 1,036,000

○株式売買比率

(2021年2月25日～2022年2月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	93,515,037千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	201,944,854千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.46

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年2月25日～2022年2月24日)

利害関係人との取引状況

<ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	%	うち利害関係人との取引状況 D	D/C	%
公社債	百万円 600	百万円 600	100.0	百万円 4,960	百万円 1,560	31.5

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

＜モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド＞

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2022年2月24日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	484,000	1,793,169	8,454,613

○投資信託財産の構成

(2022年2月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	8,454,613	76.7
コール・ローン等、その他	2,571,139	23.3
投資信託財産総額	11,025,752	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(239,108,464千円)の投資信託財産総額(239,646,134千円)に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=114.95円	1 ユーロ=129.66円	1 イギリスポンド=155.60円	1 スイスフラン=125.23円
1 スウェーデンクローネ=12.19円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年2月24日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,025,752,188
コール・ローン等	2,554,139,114
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(附)	8,454,613,074
未収入金	17,000,000
(B) 負債	76,760,438
未払解約金	21,793,152
未払信託報酬	54,757,048
未払利息	4,548
その他未払費用	205,690
(C) 純資産総額(A-B)	10,948,991,750
元本	10,460,666,674
次期繰越損益金	488,325,076
(D) 受益権総口数	10,460,666,674口
1万口当たり基準価額(C/D)	10.467円

<注記事項>

- ①期首元本額 12,219,646,278円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 1,758,979,604円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0467円です。

○損益の状況（2021年2月25日～2022年2月24日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,431,818
支払利息	△ 2,431,818
(B) 有価証券売買損益	587,768,369
売買益	699,534,840
売買損	△111,766,471
(C) 信託報酬等	△110,523,922
(D) 当期損益金(A+B+C)	474,812,629
(E) 前期繰越損益金	13,404,930
(F) 追加信託差損益金	107,517
(配当等相当額)	(159,064)
(売買損益相当額)	(△ 51,547)
(G) 計(D+E+F)	488,325,076
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	488,325,076
追加信託差損益金	107,517
(配当等相当額)	(159,064)
(売買損益相当額)	(△ 51,547)
分配準備積立金	488,217,559

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2021年2月25日～ 2022年2月24日
費用控除後の配当等収益額	63,038,200円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	411,774,429円
収益調整金額	159,064円
分配準備積立金額	13,404,930円
当ファンドの分配対象収益額	488,376,623円
1万口当たり収益分配対象額	466円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ③「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
- | | |
|--------------------|---------|
| 20億円以下の部分に対して | 年1万分の80 |
| 20億円超40億円以下の部分に対して | 年1万分の75 |
| 40億円超80億円以下の部分に対して | 年1万分の70 |
| 80億円超の部分に対して | 年1万分の65 |

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

《第20期》決算日2022年2月24日

[計算期間：2021年8月24日～2022年2月24日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、
2月24日に第20期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・信託財産の成長を目指して運用を行います。 ・運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン ト・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主 要 運 用 対 象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率					
	円	%	円	%		%	%	%	百万円
16期(2020年2月25日)	36,362	12.3	110.91	4.0	21,368	10.2	98.1	—	149,018
17期(2020年8月24日)	37,118	2.1	105.80	△4.6	22,140	3.6	98.6	—	157,527
18期(2021年2月24日)	38,596	4.0	105.41	△0.4	25,974	17.3	98.2	—	157,768
19期(2021年8月23日)	46,426	20.3	109.85	4.2	28,918	11.3	97.6	—	210,406
20期(2022年2月24日)	47,149	1.6	114.95	4.6	27,470	△5.0	97.8	—	239,602

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス (税引き後配当込み米ドル建て) (出所: MSCI) の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2021年8月23日	46,426	—	109.85	—	28,918	—	97.6	—
8 月 末	46,691	0.6	109.90	0.0	29,550	2.2	97.1	—
9 月 末	46,295	△ 0.3	111.92	1.9	28,483	△1.5	97.4	—
10 月 末	49,114	5.8	113.67	3.5	29,920	3.5	96.9	—
11 月 末	48,942	5.4	113.77	3.6	29,729	2.8	97.3	—
12 月 末	52,483	13.0	115.02	4.7	30,584	5.8	97.0	—
2022年1月末	48,845	5.2	115.44	5.1	28,356	△1.9	97.3	—
(期 末) 2022年2月24日	47,149	1.6	114.95	4.6	27,470	△5.0	97.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

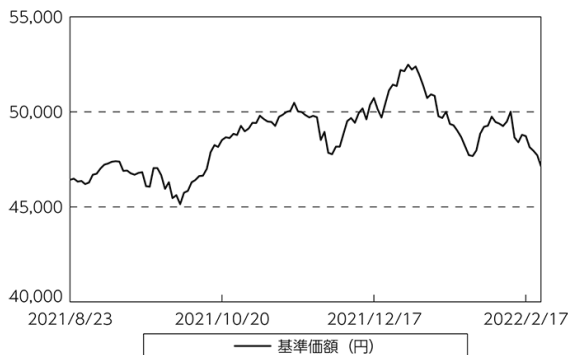
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.6%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

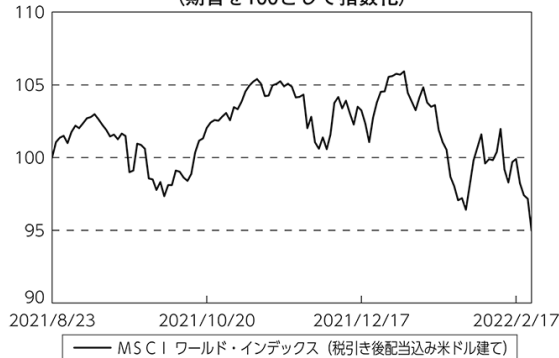
RECKITT BENCKISER GROUP PLC (英国) や PHILIP MORRIS INTERNATIONAL (米国) の株価が上昇したことや、為替市況で米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

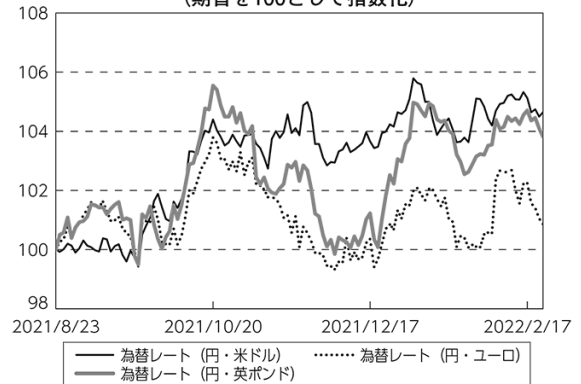
米国の早期利上げやウクライナ情勢緊迫化に対する懸念などを背景に先進国株式市場が下落したことや、SAP SE (ドイツ) や DANAHER CORP (米国) の株価が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

参考指数の推移
(期首を100として指数化)



為替市況の推移
(期首を100として指数化)



◎株式市況

- ・先進国株式市場は下落しました。
- ・期首から2021年12月にかけては、インフレ率の高止まりや米議会の大型歳出法案を巡る懸念の高まりなどから下落する局面があったものの、7-9月期の決算発表の内容が良好であったことや新型コロナウイルスのオミクロン株への懸念が後退したことなどを背景に上昇しました。
- ・2022年1月から期末にかけては、インフレ長期化や米国の早期利上げへの懸念に加えて、ロシア・ウクライナの軍事衝突リスクへの警戒感が高まったことなどを背景に、下落しました。
- ・セクター別では、コミュニケーション・サービスや情報技術などが下落しました。

◎為替市況

- ・米ドル、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。
- ・米長期金利が上昇したことや米国の利上げ前倒し観測が高まったことなどを背景に、米ドルは対円で上昇しました。また、欧州中央銀行（ECB）による資産買い入れペースが減速するとの見方が高まったことや、ECBやイングランド銀行（BOE）による利上げ観測が高まったことなどを背景に、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄

- ・ OTIS WORLDWIDE CORP (米国) : 同社が手掛けるエレベーターの保守点検業務が、安定的な利益を生んでいる点などを評価して新規に組み入れました。

◎全売却銘柄

- ・ BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC (英国) : 同社が手掛ける加熱式たばこ事業の成長が遅いと判断したことなどから、全株売却しました。

○今後の運用方針

- ・ 不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗があることが挙げられます。バリュエーションが高く不確実性が高まっている現在、継続的に収益を得ることができ、下値抵抗の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2021年8月24日～2022年2月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 1 (1)	% 0.003 (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.009 (0.009)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	4 (4)	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	9	0.020	
期中の平均基準価額は、48,652円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年8月24日～2022年2月24日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 18,831	千アメリカドル 292,226	百株 2,980	千アメリカドル 68,947
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	1,819	21,745	75	769
	フランス	441	13,717	291	6,078
	オランダ	1,488	6,172	1,706	2,307
	イギリス	478	1,290	36	96
	イギリス	5,561	千イギリスポンド 22,076	12,040	千イギリスポンド 33,267

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2021年8月24日～2022年2月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	56,690,686千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	225,608,055千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.25

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年8月24日～2022年2月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年2月24日現在)

外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円			
ABBOTT LABORATORIES	6,731	7,639	89,573	10,296,499		ヘルスケア機器・サービス	
AUTOMATIC DATA PROCESSING	3,497	3,577	70,227	8,072,691		ソフトウェア・サービス	
ACCENTURE PLC-CL A	2,751	2,934	91,898	10,563,717		ソフトウェア・サービス	
BAXTER INTERNATIONAL INC	9,790	11,111	95,268	10,951,148		ヘルスケア機器・サービス	
BECTON DICKINSON AND CO	3,080	3,220	86,511	9,944,463		ヘルスケア機器・サービス	
COCA-COLA CO/THE	6,071	6,890	42,439	4,878,414		食品・飲料・タバコ	
DANAHER CORP	2,907	3,629	95,246	10,948,587		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	665	755	21,974	2,525,938		家庭用品・パーソナル用品	
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	331	208	8,230	946,114		各種金融	
MOODY'S CORP	628	713	22,745	2,614,628		各種金融	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	5,930	6,347	98,996	11,379,688		家庭用品・パーソナル用品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	888	1,008	43,292	4,976,426		資本財	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1,507	1,710	90,405	10,392,132		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	3,162	4,627	42,686	4,906,820		ソフトウェア・サービス	
NIKE INC -CL B	1,438	1,632	22,335	2,567,522		耐久消費財・アパレル	
MICROSOFT CORP	6,193	6,332	177,489	20,402,404		ソフトウェア・サービス	
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	4,592	6,117	75,666	8,697,848		各種金融	
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTION	—	1,506	21,231	2,440,600		ソフトウェア・サービス	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	16,190	18,374	199,527	22,935,686		食品・飲料・タバコ	
VISA INC-CLASS A SHARES	4,319	5,475	118,240	13,591,783		ソフトウェア・サービス	
ZOETIS INC	1,378	1,276	23,870	2,743,875		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
STERIS PLC	—	199	4,487	515,789		ヘルスケア機器・サービス	
OTIS WORLDWIDE CORP	—	2,618	19,554	2,247,842		資本財	
小 計	株 数	金 額	82,057	97,908	1,561,901	179,540,626	
	銘柄 数	< 比 率 >	20	23	—	< 74.9% >	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ			
SAP SE	6,058	7,802	77,715	10,076,629		ソフトウェア・サービス	
小 計	株 数	金 額	6,058	7,802	77,715	10,076,629	
	銘柄 数	< 比 率 >	1	1	—	< 4.2% >	
(ユーロ…フランス)							
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	412	468	31,169	4,041,427		耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	700	794	27,306	3,540,609		家庭用品・パーソナル用品	
PERNOD RICARD SA	2,213	2,213	43,114	5,590,205		食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数	金 額	3,326	3,476	101,590	13,172,242	
	銘柄 数	< 比 率 >	3	3	—	< 5.5% >	
(ユーロ…オランダ)							
DAVIDE CAMPARI-MILANO NV	7,873	7,168	6,662	863,818		食品・飲料・タバコ	
HEINEKEN NV	3,613	4,101	38,463	4,987,139		食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数	金 額	11,487	11,269	45,125	5,850,958	
	銘柄 数	< 比 率 >	2	2	—	< 2.4% >	
(ユーロ…イギリス)							
RELX PLC	3,278	3,720	10,011	1,298,072		商業・専門サービス	
小 計	株 数	金 額	3,278	3,720	10,011	1,298,072	
	銘柄 数	< 比 率 >	1	1	—	< 0.5% >	
ユ ー ロ 計	株 数	金 額	24,150	26,269	234,443	30,397,902	
	銘柄 数	< 比 率 >	7	7	—	< 12.7% >	

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(イギリス)	百株	百株	千イギリスポンド	千円		
RELX PLC	12,492	14,178	31,829	4,952,739	商業・専門サービス	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	15,097	17,134	108,493	16,881,657	家庭用品・パーソナル用品	
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	10,849	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
EXPERIAN PLC	4,805	5,453	15,695	2,442,222	商業・専門サービス	
小計	株数・金額	43,244	36,766	156,019	24,276,620	
	銘柄数<比率>	4	3	—	<10.1%>	
合計	株数・金額	149,453	160,944	—	234,215,148	
	銘柄数<比率>	31	33	—	<97.8%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2022年2月24日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 234,215,148	% 97.7
コール・ローン等、その他	5,430,986	2.3
投資信託財産総額	239,646,134	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (239,108,464千円) の投資信託財産総額 (239,646,134千円) に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=114.95円	1 ユーロ=129.66円	1 イギリスポンド=155.60円	1 スイスフラン=125.23円
1 スウェーデンクローネ=12.19円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年2月24日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	239,949,097,795	
コール・ローン等	2,940,979,218	
株式(評価額)	234,215,148,598	
未収入金	2,719,930,947	
未収配当金	73,039,032	
(B) 負債	346,861,540	
未払金	302,963,267	
未払解約金	43,897,316	
未払利息	957	
(C) 純資産総額(A-B)	239,602,236,255	
元本	50,818,246,173	
次期繰越損益金	188,783,990,082	
(D) 受益権総口数	50,818,246,173口	
1万口当たり基準価額(C/D)	47,149円	

<注記事項>

- ①期首元本額 45,320,883,044円
 期中追加設定元本額 9,350,765,663円
 期中一部解約元本額 3,853,402,534円
 また、1口当たり純資産額は、期末4.7149円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	29,118,890,533円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)	15,145,001,622円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	3,455,005,489円
ビルドアップ型 MS グローバル・プレミアム株式(為替ヘッジなし) 2020-11(限定追加型)	1,793,169,118円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	1,306,179,411円
合計	50,818,246,173円

○損益の状況 (2021年8月24日～2022年2月24日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	1,400,014,684	
受取配当金	1,399,934,793	
受取利息	130,099	
その他収益金	206,853	
支払利息	△ 257,061	
(B) 有価証券売買損益	954,120,518	
売買益	16,985,176,259	
売買損	△ 16,031,055,741	
(C) 保管費用等	△ 18,392,545	
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,335,742,657	
(E) 前期繰越損益金	165,085,634,355	
(F) 追加信託差損益金	36,177,038,754	
(G) 解約差損益金	△ 14,814,425,684	
(H) 計(D+E+F+G)	188,783,990,082	
次期繰越損益金(H)	188,783,990,082	

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。